

2025-26 RIテーマ

**UNITE
FOR
GOOD**

 よいことの
ために
手を取りあおう

WEEKLY

Rotary



Club of Toyohashi

RI D2760

2025-26 クラブテーマ

 「話があり、和をもち、
そこに大きな輪をまわそう」
～心を耕し、心に種をまき、奉仕の花を
皆の心に咲かせよう～


1950年8月10日創立

ガバナー公式訪問

理事会担当

ガバナー講話

鈴木 康仁 ガバナー



本年度のRI会長はフランチェスコ・アレツォ氏です。デ・カマルゴ氏がRI会長就任前に辞任されたため、臨時理事会を開き、アレツォ氏に決めました。

今年度のRIの方針ですが、今年から「テーマ」ではなく「メッセージ」となりました。「よいことのために手を取りあおう」というメッセージのもとに、皆さま頑張りましょうということです。

会員増強について、これが第一です。一に会員増強、二に会員増強、三に会員増強、四も五も会員増強、全て会員増強です。ロータリークラブにとっての宝は、会員お一人おひとりです。その宝をさらに増やすために、新しい方にご入会いただきクラブの活性化につなげていきましょう。今年度は、会員増強を一層進めてまいります。

二つ目はポリオ根絶です。ポリオ根絶啓発運動を始めたのはロータリーです。そして、世界の子供たちとポリオ根絶を約束しました。あと少しのところまでできましたが、このあと完全に根絶するまでが大変です。だからこそ足を止めずに、しっかりと取り組んでいきましょう。豊橋RCさんの創立75周年記念事業では1年間かけてしっかりとポリオ根絶活動をされていましたが、この活動は、現在日本の中でも非常に大きな評価をいただいています。ぜひ地区の先頭に立って頑張っていただければ幸いです。

三つ目は平和の構築です。皆さまは既に国際奉仕等様々なことに取り組まれています。私は積極的な平和にとって一番大事なことは青少年の教育だと思っています。ロータリークラブでは、青少年プログラムを実施しています。インターアクトやローターアクト、RYLA(ライラ)、青少年交換、米山奨学生、米山学友会がそうです。我々は様々なプログラムを通じて青少年育成に努めています。プログラムに参加した子ども達は母国と外国との架け橋になってくれます。彼らの様な子ども達を増やすことは、まさにポジティブピース、平和の構築に繋がるのではないかと私は思っています。

先ほど会員増強と言いましたが、世界の会員数は減少しており、日本でも減少しています。しかし、当地区の会員数は、昨年6月には4489名でしたが、今年の6月には4516名となり、増加しました。これは84クラブの

皆さま方の努力の賜物だと思います。当地区は増強に力を入れていただいています。増強の意味をしっかりと理解して、行動していただいているおかげだと思います。

今年度の第2760地区の方針は「ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう！～夢と希望に満ちた未来の実現に向かって絆を深め奉仕の歯車を力強く廻そう！～」とさせていただきます。ロータリーというのは非常に奥深いものがあると私は思っています。私はロータリーに29年程所属していますが、ガバナーになってもロータリーの全てを極めているとは到底言えるものではありません。しかし、ロータリアンは少しでもロータリーについて知る必要があると思います。それならば、皆さまと一緒にロータリーについてを学んでみませんかということです。そして、皆さまと一緒に様々な活動を行い、地域社会に貢献していきましょう。これらのことに力を注いでいこうという思いが、今年度の方針に表れていると知っていただけるとありがたいです。絆を深めることで、クラブ内が明るくなると思います。ロータリアンの徽章は歯車です。会員お一人おひとりが一つの歯車として、噛み合わさり、力強く回っていけば、当然クラブの発展に繋がると私は思っています。

私の大好きな言葉に「縁尋機妙 多逢聖因」と「混じり集まり綾をなす」があります。「縁尋機妙」というのは、良い縁が更に良い縁を訪ねて発展していく様は、誠に妙なるものがあるという意味です。「多逢聖因」は、良い人に交わっていると良い結果が生まれるということです。もう一つについては、社会には異なる人々が集まっています。意見が違うから議論が成り立ちます。そして議論が成り立つから、発展性があります。異質なも

2025-26年度 豊橋ロータリークラブ

ガバナー公式訪問

RID2760ガバナー 鈴木康仁

(蒲郡ロータリークラブ)



のを排除しない世界、それが質の高い集まりであるという意味の言葉です。この2つの言葉はまさにロータリーを指していると私は思っています。是非、頭の中に留めておいていただくと嬉しく思います。

ロータリーには行動計画があり、各クラブは実際にこれに沿って計画を立てて進めることになっていますが、実際にこれを行っているのは34地区の中であまりありません。しかし、第2760地区の84クラブ全てがやり遂げたのですから、当地区はとても素晴らしい地区だと誇りに思います。これは、クラブを活性化するために、中期的、長期的に見て、自分のクラブをどの様にしていくかを考えていってくださいというものです。では、2年目は何をするのかというと、1年目についてもう1度見直して考えてくださいということです。ロータリーは単年度制です。しかし、各クラブが中期計画作成をするのは、継続性の文化を熟成していこうという考え方のためです。私は継続事業について悪いとは思いませんが、継続する理由が必要だと考えます。ただ同じことをするのはあまり意味がなく、発展するように見直しを行うことで更に良いものができるのではないかと思います。

12年間続けてきたWFF・RFF事業ですが、本年度はこの事業を取りやめました。その代わりに、1年を通してのポリオ根絶運動ということで、各クラブの皆さまに、ポリオに対して深く考え、理解していただき、ポリオ根絶に対しての啓発運動を行っていただきたいと思います。また「TEAM SUZUKI」というものを作りました。これは事業をするところではなく、会議体です。地区のサポート役ということで、ガバナー補佐の皆さまや、財団のポリオ関係者の皆さまに集まっていただき、クラブのお手伝いができるような会をつくっているところなので是非利用していただきたいと思います。

最後に、地区はクラブのリソースだと思っています。皆さまに大いに活用していただき、共にロータリーを楽しみたいと思います。最後に「笑門来福」です。皆さまと一緒に笑いながら、楽しくロータリーに取り組んでいきたいと思っています。豊橋RCさんのこの1年が、素晴らしい年度になりますように、心からご祈念を申し上げて、私からの講話とさせていただきます。



歓迎の挨拶・乾杯

村井 總一郎 PG



鈴木ガバナー、ようこそ豊橋RCへ。東三河から優秀なガバナーを輩出したことを嬉しく思います。

今年は大変暑いですが、名古屋で40度を超えたのは今年と7年前だそうです。7年前のガバナーも大変だっただろうと思い、調べたところ、私がやっていました。鈴木ガバナーには健康に気をつけて務めていただきたいと思います。

それでは、杯を挙げたいと思います。鈴木康人ガバナーの精力的なガバナー公式訪問が続き、本年度が無事に成果を上げて終われますことを願い、杯を上げたいと思います。高らかにご唱和ください。乾杯。

ガバナー紹介

佐々木 利政 会員



鈴木康仁ガバナーは蒲郡RCに所属され、株式会社鈴木新聞舗の代表取締役を務められています。立命館大学を卒業後、2007年に代表取締役役に就任されました。主な役職としては、愛知県小中学校PTA連絡協議会会長、愛知県市町村教育委員会連合会会長、蒲郡市教育委員会委員長を務められています。ロータリー歴としては、1997年の11月に蒲郡RCに入会され、今年で29年目になります。2012-2013年度に幹事、2017-2018年度に会長、2018-2019年度の村井ガバナー年度の時には地区大会の実行委員長を務められ、素晴らしい運営をしていただきました。その後は、ロータリー奉仕委員会副委員長や、青少年交換のカウンセラー、アドバイザー等を歴任され、2024-2025年にガバナーエレクト、本年度ガバナーに就任されました。大学時代には落語研究会に所属され、そこで話術を鍛えられ、話が大変上手な方です。好きな言葉は「笑門来福」で「楽しく過ごせば福が来る」をモットーに日夜頑張っておられております。

ガバナー入場・例会風景など





R I 会長のフランチエスコ・アレツツォ氏の「一に増強、二に増強、三にも増強」の言葉を受け、本年度頑張っていきたいと思います。そのために本日、新会員候補者の情報提供のチラシを配付させていただきました。会員増強は、前任者から受け取った皆さまの候補者情報を活用させていただいています。まさにガバナーの3 years goalsです。今後「何人入会を」とは言えないですが、過去の会員増強委員長の蒔いてきた種を少しでも実らせたいです。そして井川会長のクラブテーマと同じように、次に繋がる心の種を蒔いていきたいと思います。私は宮田正人会員に出会い、当時会員増強委員長だった兼子直久会員に声をかけていただき、今があります。その気持ちを大切にロータリーの意義、豊橋RCの魅力伝えていきたいと思います。皆さまからの多くの情報提供をいただけることを切に願いながら、私のご報告とさせていただきます。

会長歓迎の挨拶

井川 和英 会長



あるガバナーのお話です。その方が公式訪問の際、宿へ泊まって按摩さんと呼ばれるそうです。治療中に「ロータリーのことを知っているか」と聞いたところ、「知っていますよ。この間も盲人杖をいただきました」と。そこでガバナーはやや安心したそうです。重ねて「ところで、ロータリーのことをどう思うか」と尋ねたところ「盲人杖は色々な方々からもらって、もう5本になりました。杖を下さるのも良いが、交差点で手を引いて渡らせてくれた子供さんの方がずっとありがたかったですよ」と返ってきたそうです。物資のない時代にはそれで良かったかもしれませんが、逆の場合もあります。財布の中にどれだけ「善意」が入っているかで決まるのだと思います。

鈴木ガバナーは、様々な研修や地区の会合の際、壇上には上がりず、会員のテーブルを回りながら必ず皆さまと同じ目線に立って、一人ひとりに語りかけるように、分かりやすく丁寧にお話くださいます。そうすることで皆さまの注意を引きつけられ、とても勉強になりました。

ロータリークラブは奉仕する団体ではなく、奉仕をする人々の集まりです。そして例会で童心に戻る、歴史を振り返ることが大切です。ポール・ハリスさんはどうやってこのような場面を作ったのでしょうか。かなり苦労した面や、夢を描いた面もあると思います。これからの職業人として、我々がいかに世界で活躍し、奉仕ができるかということだと思います。

幹事報告

山本 貴浩 幹事

1. 例会終了後に4階グリーンルームにて理事会を開催します。
2. 誕生日プレゼントとして先週からパーカーを配布しておりますが、まだ受け取られてない方は、S.A.A. またはクラブ運営委員長までお申し出ください。

- 鈴木康仁ガバナー、小池高弘地区幹事ようこそお越しいただきありがとうございます。ご指導の程よろしくお願い致します
井川 和英 会長 山本 貴浩 幹事
- 鈴木ガバナー、小池地区幹事、小田地区事務長、皆さんようこそ豊橋RCへ。歓迎の乾杯の発声をさせていただきました
村井 総一郎 P G
- 鈴木康仁ガバナー、小池高弘地区幹事、小田泰久地区事務長、豊橋RCへようこそ。今日はホームグラウンドと思ってガバナー講話よろしくお願い致します
神野 紀郎 鈴木 良昌 高須 博久 高山 景一
佐々木 利政 松坂 良太 福井 敬 大塩 啓太郎 柳原 茂久 保田 充三 各会員
- 本日、「新会員候補者の情報提供」のチラシをポストイングさせていただきました。皆さまよろしくお願いたします
伊藤 健一 会員増強委員長
- 本日のガバナー公式訪問よろしくお願い致します
小田 泰久 第2760地区 地区事務長
- 先週の例会でお食事数120食2回目となるピタリ賞を達成することができました
河合 珠美 クラブ運営委員長
- とても良いことがありました
富田 佳央 会員
- 8年越しの順番待ちで弊社ユタカ自動車学校のラッピング路面電車が走るようになりました。岩ヶ谷会員にも出発式にご来賓として参列いただきました。ありがとうございました
大塩 啓太郎 会員
- 100万ドルの食事をお召し上がり下さい
富田 佳央 S.A.A.

会葬御礼

江崎 雅彰 会員

(順不同)

歌

ソングリーダー 久保田 充三 会員

「君が代」「それでこそロータリー」

本日のゲスト

ガバナー 鈴木 康仁 氏 (蒲郡RC)
地区幹事 小池 高弘 氏 (蒲郡RC)
東愛知新聞社 田中 博子 氏
東海日日新聞社 大林 恭子 氏

本日のビジター

地区事務長 小田 泰久 氏 (蒲郡RC)

出席報告

小林 大悟 出席委員長

当日出席者 75名 計算会員数 97名中22名欠席
総会員数 110名 出席率 77.32%

例会予定

次のプログラム

9月11日(木) 卓話「カーシェアリングから始まる奉仕の輪」

- 9月18日(木) 休会
- 9月25日(木) クラブ・フォーラム「社会奉仕」(夜間)
- 10月2日(木) 卓話「米山奨学会の活動について」

写真の閲覧はこちらから▶

事務局：豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内

